

## 信州大学の研究推進戦略とURAシステムの位置付

＜中期計画における信州大学の研究推進戦略＞

- ◆本学の重点研究領域であり、世界的競争力を持つ、ナノマテリアル（ナノカーボン）やファイバー分野で形成した『研究・産学官連携拠点』を拡大・発展させる。  
これにより、研究を更にワンランクアップさせると同時に、深化した産学官連携機能により産業振興に寄与する。
- ◆すなわち、本学や長野県の特長を活かした、次代の科学技術の核となる研究を大きく育み、地域に根ざし世界に拓く『研究・産学官連携拠点』を形成・拡大・発展させ、研究の更なる高度化と産業振興に資する。

＜研究推進戦略におけるURAシステムの位置づけ＞

既存URA室を含め、研究支援組織を一極化して機能強化する『総合研究推進機構』を設置

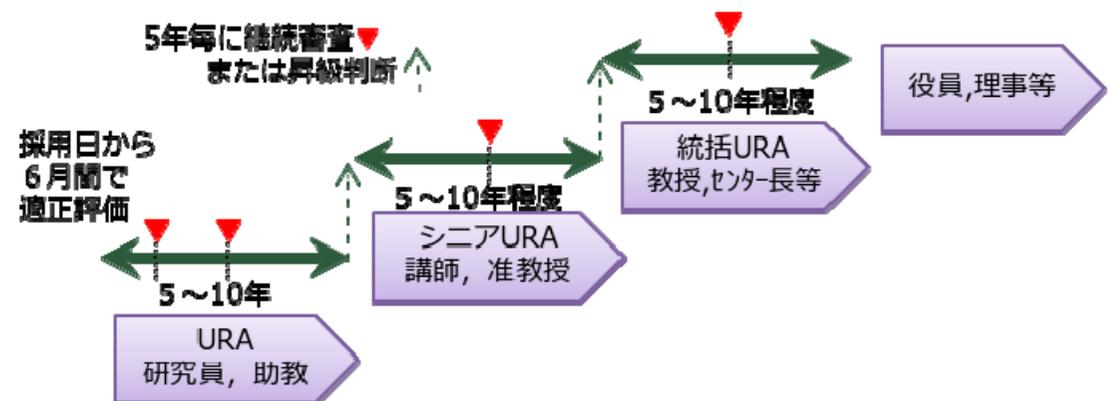
学長直轄の研究戦略企画会議の下で、URA室は以下を推進し、更なる研究成果の創成と蓄積、社会還元を担う。

- ◆『研究・産学官連携拠点』を形成・拡大・発展させ、優れた研究者や学生が先進的な研究を推進できる企画の立案
- ◆効果的な研究資金獲得や研究マネジメント

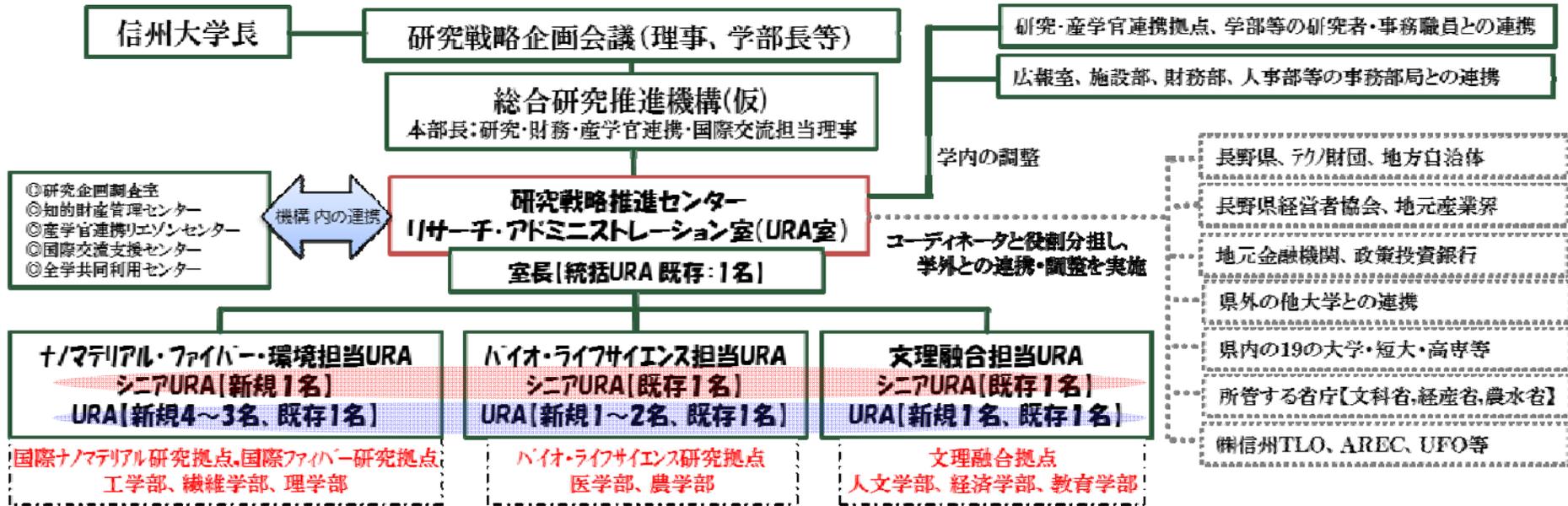
この実現のため、既に戦略的に自主経費を投入してURAを雇用しているが、URAシステム整備事業を活用して、URAの更なる増員・強化充実を行う。

## 信州大学でのURAキャリアパス

- ◆本補助金URAは常勤職教員ポストで雇用（特定有期雇用教員、再任可）
- ◆採用日から6月間で適正評価
- ◆採用より5年目毎を基準として、URA教員独自の評価基準により審査（昇進、継続等）
- ◆シニアURAとして能力が熟成すれば、学長裁量教員枠等で、任期の定めのない常勤職教員で雇用



# URA組織体制とチーム活動による効果



**補助金雇用7名、自主経費雇用5名 (H24年度) H25~26年度は2名/年度ずつ増員予定**

担当分野毎に、シニアURAとURAのチームで活動し以下の機能を効果的に発揮させる。

- ◆研究成果の効率的な管理
  - ◆競争的資金の採択率の向上
  - ◆次世代の核となる研究の早期発掘
  - ◆若手URA育成
- 担当分野が異なる、シニアURAやURAの横の連携で異分野融合・文理融合を促進する。

## 信州大学URAの職務内容

- 地方自治体・産業界との密接な連携、研究・産学官連携拠点の事業企画策定
  - 研究・産学官連携拠点の運営・マネジメント
  - 国や自治体の産業政策に対する調査・分析及び提言と研究・産学官連携拠点の事業計画への反映
  - OJT教育を通じたURAの指導及び人材育成、座学を通じたURA・各事務部局の高度化、大学院生へのURA教育
- 
- 研究者単位での研究戦略の企画立案の支援, 研究資金の獲得
  - 学部事務担当者との連携
  - 公募情報の収集と活用, 申請書・計画書・報告書の作成支援
  - 技術移転(製品化・事業化)
  - 地域性・市場・特許・研究動向等調査, 広報との連携
  - 国際交流・産学官連携事業の推進

※他に担当分野毎の専門項目も有